



8/1 能美市学校給食センター竣工式 8/2 能美市戦没者慰霊式 8/3 シングルファミリー応援三道山子ども食堂(東振精機 様、ヨネモリ 様からご寄付)



8/5 三道山子ども食堂6周年祭



8/6 珠洲市避難所物資支援



8/7 三道山子ども食堂 市内生活支援活動



8/7 能美市福祉協力校活動連絡会



8/8 経済同友会防災セミナー ポリ袋調理



8/9 珠洲市避難所物資支援



8/9 珠洲市蛸島保育園避難所懇親会



8/12 珠洲市避難所炊出し(蛸島保育園)



8/12 珠洲市自宅避難者物資支援



8/14 珠洲市避難所物資支援



8/14 珠洲市蛸島イベント出店



8/16 子ども食堂懇親会



8/18 能美市内避難者パントリー



8/20 珠洲市避難所炊出し(若山小学校)



8/21 珠洲市避難所・仮設住宅・自宅避難者支援



8/23 三道山子ども食堂



8/24 能美市県政報告会



8/25 祖母を囲んで会食



8/28 珠洲市避難所支援物資支援

思いが叶う能美市に!

令和6年 秋 第50号

市内全戸配布版

~能美市政報告~

絆 きずな

能美市議会議員 たなか さくじろう 田中 策次郎



令和6年9月10月の活動



9/27 石川県赤十字奉仕団 委員長研修(長野県)



9/29 能美市民ボランティアフェスティバル 能登支援ブース



10/2 寺井中学校体育祭



10/3 豪雨被災の珠洲市避難所から依頼のあった物資を避難所・民家、消防に加え、断水の方が利用する入浴支援施設に物資拠点として配布



10/3 珠洲市内



10/4 三道山子ども食堂&三道山子スクール



10/5 能登半島豪雨災害募金



10/6 寺井地区スポーツフェスティバル



10/7 浜小学校福祉体験授業



10/8 珠洲市避難所支援



10/12~13 金沢子ども食堂「Smiley kitchen ごはん」安藤さんにご紹介頂き、ご寄付のお弁当を2日間で計600個配布



10/15 能美市老人クラブ 連合会寺井支部防災講演



10/18 石子町敬老会 防災講演



10/18 三道山子ども食堂



10/19 能美市内避難者パントリー



10/22 珠洲市避難所支援



10/25 和気小学校福祉体験授業



10/27 市民環境フェスタ



11/29 商工会女性部防災



9/5 珠洲市避難所物資支援



9/7 三道山子ども食堂



9/8 能美市日中友好協会グランドゴルフ大会



9/9 能美市議会救命講習



9/10 珠洲市避難所支援



すずなりキッチン



9/14 小松工業高校同窓会総会



9/16 水防フェスタ



9/17 手取川水防フェスタ記念ステージ石川公演 はんなりラヂオの方々が能美市内ご案内



9/18 能美市観光大使 吉野悠我さん柳沢三千代さんと珠洲市避難所物資支援まわり (11月には東京で能登半島地震応援チャリティを開催)



9/20 粟生小学校福祉体験授業



9/20 三道山子ども食堂



9/21 保育園運動会



9/21 吉光町パーベキュー大会



令和6年9月21日に能登地方に豪雨、輪島市・珠洲市など能登地区に甚大な被害
珠洲市避難所より物資支援の要請があり、豪雨翌日22日に珠洲市へ (22日珠洲市内映像)



●災害に強いまちづくり

県内市町の首長は能登半島地震を受け災害に強いまちづくりについて発信をしている。災害は地震のみならず、水害や台風や雪害など、様々な想定の中での対応が求められる。発災時の行動指針や備蓄など、事前の準備も必要。もちろん災害時には市長1人で動くものではなく、行政職員や市民が一丸となり対応することが必要で、加えて国、県、県内各市町との連携も重要である。
市長が描く今後の災害に強いまちづくりの理念と構想について答弁を求める。

答 井出 敏朗 市長

- 市民の生命と財産を守ることが市としての使命であり、市民が防災や災害を日頃から身近に感じ、自分事として考えられるよう、**市民力、地域力を原動力に大震災や大雨災害を意識した防災対策を講じ**、誰一人取り残されない災害に強い能美市を目指したまちづくりを展開していく。
- 防災行政無線機器の更新や河川改修、樋門整備などの流域治水対策の強化。ハザードマップ、防災備蓄計画の更新を進める。**
- 情報発信ツールの機能強化を図り**、市民の適切な避難行動につなげる。
- 市民が災害犠牲者とならない地域づくりを目指し、**防災士等による地区防災計画の作成や訓練の実施**、特に要配慮者の安全な避難確保のために、地域住民が協力して個別避難計画を作成し、実践できるように、**市民と協働で地域防災力の強化に務めていく。**



●コミュニティナースの役割について

能美市では、デジタルと市民力の融合により誰もが安心して住み続けることができ、幸せな暮らしが実現できるよう「能美スマートインクルーシブシティ構想」を掲げ、誰ひとりとり残されない町を目指しています。株式会社CNCがこのビジョンを支えるパートナーとなり、地域の課題解決に向けた新たな取り組みを展開しています。人と人をつなげ「おせっかいの輪」を広げる役割として「コミュニティナース」の方々が市内で活動を行っています。この「コミュニティナース」と言う言葉と活動は、まだまだ市民に浸透していないと思います。「コミュニティナース」は新しい団体を作るのではなく、能美市に今ある地域団体を基盤にし、つながりを作っていくものと理解をしています。**市民に向けての発信として「コミュニティナース」の役割と具体的な目的、今後の活動の展開と、市民に求められる協働の形について説明を求める。**

答 米脇 守 企画振興部長

- スマートインクルーシブシティ構想は、デジタル技術を活用しつつ、多世代のつながりの交流拠点となるデジタル公民館の整備を進めることで、市民の生活課題となっている人と物の移動を解決していくものであります。コミュニティナースがオンライン診療時の機器の操作やコミュニケーションのサポート、インターネットによる買物の注文支援や商品の受渡しなどを行います。また、情報格差を解消するため、高齢者などへのスマートフォンの使い方などのアドバイスをを行いデジタル公民館で提供するサービスの利用をサポートしながら円滑な実現を目指していきます。今後は、住民にとってデジタル公民館が生活の拠点としてこれまで以上に身近な存在となるよう、その中核を担うコミュニティナースの役割を充実させるための養成講座を開催し、より多くの市民にコミュニティナースとして参画いただくことで協働のまちづくりを推進していきたいと考えている。



所感

国のインクルーシブシティ事業補助金事業採択を受けている間、進めていくという話でありました。コミュニティナースの講座を受け即戦力になるというのは難しい。**コミュニティナース自身が色々な団体の方々となつたり、団体と団体をつなげるのが本来のコミュニティナースの役割**であり。長いスパンで考えなければコミュニティナースが養成され活動しても行き詰まってしまう。市内には町会の中で活動している方々や、ボランティア団体もたくさんあります。地域力の低下から、だんだん団体も少なくなり、そして高齢化しています。活動はしたいけれども、お世話人が居ない、それをサポートし「おせっかい人」を育て、**地域活動を続けられるようにするためにも、長い期間でのコミュニティナース事業が必要です。**子どもを対象にした活動が、事情があり継続が困難になり、コミュニティナースが人をつなぎ継続ができるようになったという事案がありました。子どもたちのため、地域力のため、市民力のためにも、コミュニティナース事業が能美市に根づくまで続けることを願う。 (能美市議会 YouTube 田中策次郎 一般質問) =>



9/23 能美市内避難者パントリー



9/26 要望を聞き取り豪雨後2度目の珠洲市緊急物資支援

ご意見・ご相談等がございましたら下記まで☆
ご返答希望の方は連絡先をお忘れのないように願います。
能美市議会議員 田中 策次郎
〒923-1124 石川県能美市三道山町チ16-2
TEL 0761-58-5037 FAX 0761-58-5209
Mail 3926@nomi-city.net http://3926jp.net



議会 YouTube 配信
意見交換会や
本会議の中継を
発信しています